

未来への協働

2024年5月22日(水)

第390号

●発行所 未来への協働
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306 - 3512
郵便振替
00940-8-213061
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 民間外交で平和をつくる
- 3面 どう見る「島根ショック」
- 4面 学校で共に生きるとは「君が代」処分
- 5面 世界史にとってアメリカとは
- 6面 瀬高に浮かぶ黒い石材船

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



<https://kyodomirai.org>

扇状地

3月28日にメ
タンガスが爆発
した万博会場。
夢洲は1〜4区
に分かれてい
て、4区はコン
テナターミナル

だが、1区は管

理型最終処分場。危険な

ものがいっぱい埋まって

いて、人が入ることを想

定していない場所だ▼爆

発したのはこの1区のト

イレ建設現場。1区に隣

接して池がある。この池

に1区から排出される水

を溜めて、浄化してから

2区に放流している。夢

洲の水はそのまま海に流

してはいけなものである

▼2区は大屋根リングの

あるところである。リン

グの一部は水面に出る

ようになっていて、その

が…一体どんな水なの

だろう▼とにかくこんな

危険な場所に4歳以上の

子どもたちを無料招待し

ていいわけがない。教職

員組合からは「安全が確

認できるまで児童生徒の

無料招待事業を見送るよ

う」府に要請があった▼

EXPO2025のHP

を見ると「修学旅行、校

外学習として最適」との

文字。「いのちを感じる

体験ができる」とも。「い

のちの危険を感じる」の

労働組合の底力示す

国家による弾圧に負けない

第95回中之島メーデーが集まった(大阪、中之島公園・剣先広場)。全を代表してあいさつ。労働組合の代表者

岸田政権の官製春闘

の実態は大企業だ

けの賃上げだっ

た。グループ企業

や中小零細の協力

企業の労働者には

賃上げをしていな

い。子育て支援金

は国民負担。介護

保険料を引き上げ

ながら介護労働者

の賃金は上がって

いない。一方で、

米国の軍需産業を

助ける防衛費は過

去最高の増額。国

民生活を苦しめて

いるのが岸田政権

や維新だ。関生支

部への国家ぐるみ

の弾圧から7年。

労働組合つづしの

大弾圧を許さない

実行委員会を全国



第95回中之島メーデーで発言する争議団の仲間たち=5月1日、大阪市北区・中之島公園

ガザ危機 暴力に対して行動を 反占領闘争は正義

5月7日、イスラエル軍はガザ地区南部のラファにたいして大規模な地上侵攻を開始した。エ



講演する岡真理さん=5月3日

4世紀のヘレニズム文明の集積地であり、様々な民族や宗教が共存していた。パレスチナには多民族多宗教の民主主義国が

力や構造的暴力に負担する文化的暴力である。私

シフトと境界にある検問所を封鎖し、ガザ地区への支援物資の搬入を完全

に遮断した。ガザは水、食料、燃料、医薬品

などあらゆる物資が欠乏し、深刻な状況に陥っている。一方、イスラエル

への抗議デモが全世界で広がっている。米コロン

二国共存は不可能

岡さんは「パレスチナ問題の起点はイスラエル

建国である」と話す。そ

な問題をあらわしていると

暴力、占領や封鎖といっ

り、5月4日時点で逮捕

化とアパルトヘイトであ

レスチナの地は紀元前

知や無関心から直接的暴

3月28日にメ
タンガスが爆発
した万博会場。
夢洲は1〜4区
に分かれてい
て、4区はコン
テナターミナル



第6回アジアから問われる日本の戦争展2024
＝4月27日～28日、大阪市

民間外交で平和をつくる

“自発的従属、からの脱却へ

新外交イニシアティブ代表
猿田佐世さん

米外交戦略の転換

この日の講演のテーマは「アメリカとは一体何か?」。「それを簡単に言うことはとても難しい」と猿田さんは話す。ただし、現在のアメリカの外交政策が米中関係を「戦略的競争関係」としてとらえ、そこから具体的な政策がくみだてられていることは間違いないという。アメリカの最大の関

心事は、「競合する中国にどうやって勝っていくのか」にあるのだ。そこで「同盟国との関係を重視し、同盟国の軍事を自国(アメリカ)の抑止力に組み込む『統合抑止』という考え方に転換している」と猿田さんは分析する。それは日本のシンクタンクが発表する提言(アーミテージ・U.S.(米英豪による対中国の軍事同盟)など少数の協力枠組みをいくつも作って、中国に対抗しようというものだ。アメリカをハブとして、各国をスポークでつなぐ従来のような一対一戦略から大きく転換している。

ワシントン拡声器

ではアメリカの外交政策の実態はどうなっているのか。猿田さんは「それはワシントンという都市の独特な性格を注目すればわかる」という。ワシントンはアメリカの首都であると同時に、国際政治の中枢の役割を担っている。その人口はただか70万人程度であり、住民のほとんどが政治・外交に関わる政治家・官僚・知識人・報道機関の人間たちだ。ワシントンで話されたことは瞬時に全世界の通信社によって世界中に配信され、世界

の世論を形成する。そのような機能を持つ都市は世界中でワシントン以外にはない。

日本政府は、ワシントンのCSIS(戦略国際問題研究所)などのシンクタンクに毎年多額の寄付をしている。そしてそのシンクタンクが発表する提言(アーミテージ・U.S.(米英豪による対中国の軍事同盟)など少数の協力枠組みをいくつも作って、中国に対抗しようというものだ。アメリカをハブとして、各国をスポークでつなぐ従来のような一対一戦略から大きく転換している。

例えばある自民党の議員がワシントンでアメリカの連邦議会の議員と交わした会話を記者会見で取り上げて、「アメリカの議員は〇〇と云っていた」と記者たちの前で話したとする。ワシントンの記者会見に来ているのは日本のマスコミだけだが、日本の大新聞では翌日の朝刊に大見出しで、その発言があたかも「米政府の見解」であるかのように紹介される。

実際には、アメリカの連邦議会の議員たちは、日本のことをほとんど知らないし、関心もない。だからワシントンにおいて、「日本関係の影響をもつ知日派」は、せいぜい5人、多くても30人程度だ。そのごく限られ

た人たちの意見で、日本の外交政策が決定されているのだ。

猿田さんは、「これをいわれる『対米従属』と批判して、簡単に『日本はアメリカから独立しなければならぬ』と言うことはできない」と話した。なぜならそれは、「日本の自発的従属であり、積極的に日米同盟に価値を見いだす外交政策を日本政府がとっている」からである。その構造は簡単に覆せない。

現在のアメリカは、単独で世界の覇権国家となることはおぼつかないが、外交の力により平和をアジアで対中競合に勝た

なければならない。そこで日本をうまく利用したい。日本もその関係の中

で生き延びようとする。だから先日、訪米した岸田首相は、アメリカの連邦議会での演説で、この多用されていたのがinstitutionalization(制度化する)という外交用語だった。例えばある特定の分野で国同士の協力関係をつくることが決まったら、その分野に関連する政府のトップレベルから民間レベルに至るまで、きめ細かい会議や討議の場を設定しながら、政府間の協力関係を具体化するというものだ。猿田さんは「政府とは

いるが、「米国外交は良くも悪くも反面教師」という。先日、猿田さんがアメリカの外交当局のセットした多国間交流の場に参加した。そこで多用されていたのがinstitutionalization(制度化する)という外交用語だった。例えばある特定の分野で国同士の協力関係をつくることが決まったら、その分野に関連する政府のトップレベルから民間レベルに至るまで、きめ細かい会議や討議の場を設定しながら、政府間の協力関係を具体化するというものだ。猿田さんは「政府とは

別には、民間レベルでもっと多様なチャンネルで制度に取り組んでいく必要がある」と強調した。中国との関係でも民間レベルでの様々な可能性がある。そうした制度化された民間交流を継続することで、戦争を防ぎ、平和を維持することができるといえる。新外交イニシアティブは、実際に沖縄の玉城デニー知事と米議会との交渉などをセットしてきた。

またASEANは、加盟国が、独自の国益を考えて外交政策を緻密に取り組んでいる。そうやってフィリピンはアメリカとの交渉の末に、米軍基地の撤退を実現してきた。一方、日本政府は、日米地位協定の改定を積極的に言い出せない状況が続いている。ところがアメリカ大使館は、国会で米軍基地の問題がどう議論されているか、日本全国で開かれている様々な市民活動について、とても敏感なのだという。

猿田さんは「市民が行動を積み重ねていくことで、政治を変え、外交を変えていくことができる。今日の話を周りの人、若い人に伝えてほしい」と訴えて講演をしめくつた。(西田太一)

抑止力は国際法違反 軍事は何も解決しない

大阪

憲法記念日の5月3日、「輝け! 憲法 平和」というのちと人権を和をどう創りだすか。2024・おおさか総がかり集会」が、大阪市北区の扇町公園で開かれ、私たちの生活・医療・福祉・子育て・親の介護に必要なお金を奪う」と話しました。軍事は何も生



世界の軍事費の4分の1を支出しているのです。

「抑止力」について川崎さんは、「抑止力は国際法上問題ないのか、違法性はないのか」と問い

かけました。2017年にできた核兵器禁止条約に世界の半数の国が加わっています。日本政府は自衛のために核抑止力が必要と言いますが、その核抑止力は、世界の半分の国によって明確に否定されているのです。そもそも核に限らず武力による威嚇は、日本国憲法第9条1項が永久にこれを放棄すると言っています。国連憲章第1章2条4項も、すべての加盟国はそのようなことを慎まなければならないと定めています。

「相手の国を威嚇して、この交渉の末に、米軍基地の撤退を実現してきた。一方、日本政府は、日米地位協定の改定を積極的に言い出せない状況が続いている。ところがアメリカ大使館は、国会で米軍基地の問題がどう議論されているか、日本全国で開かれている様々な市民活動について、とても敏感なのだという。猿田さんは「市民が行動を積み重ねていくことで、政治を変え、外交を変えていくことができる。今日の話を周りの人、若い人に伝えてほしい」と訴えて講演をしめくつた。(西田太一)

(池内潤子)

「台湾有事は日本の有事」と言われて、さまざまな議論がなされてきた。そのなかで、多くの論者は「台湾有事となれば日本の存立危機となれ



る。論者らは、意識が無き、自衛隊の武力行使の歯止めない拡大に道を開いてはならない。市民運動は国会審議を注目し、平和勢力の国会での活躍を励まし続けなければならない。

4月28日投票が行われた衆院3補選で自民党が全敗した。特に「岩盤保守」と言われた島根1区での自民敗退は全国政治に大きなインパクトをもたらしている。

今回の補選は島根1区、東京15区、長崎3区の3選挙区で行われた。自民党は東京15区と長崎3区には候補者を立てずに「不戦敗」。島根1区に全力を集中した。岸田首相は、選挙公示期間中に2度も島根に現地入りした。島根は小選挙区制度開始以来、自民党の細田博之（元衆院議長）が議長を確保してきた。政権交代した2009年の総選挙でも対立候補に

わが憲法は、国民主権のもと国会を国権の最高機関としている。国の大事は国民の代表者で構成される国会で審議、決定され、国民は代表者による国会の審議を見守る権利と義務がある。戦争に匹敵する自衛隊の武力行使、その開始と存続は国の最大事である。国会の審議を怠ったり回避することが許されるはずはない。「平和ボケ」したわが国民も、今やこのことを肝に銘じなければならない。明治憲法下の「戦争秘密主義」を頭から払いのけなければならない。

説明回避は許されない

—日米指揮権統合の危険性(下)—

日米の指揮権統合を追求する国会は、政府の説明回避を許してはいけない。国権の最高機関たる国会は平和と戦争にかかわる切迫した最重要事項を審議している誇りと自覚を持つべきである。秘匿しようとする政府の態度は憲法9条を逸脱しようとする卑劣な態度であって許されない。追及ができぬままに、米軍と自衛隊の指揮統制機能が密約化

4月28日投票が行われた衆院3補選で自民党が全敗した。特に「岩盤保守」と言われた島根1区での自民敗退は全国政治に大きなインパクトをもたらしている。今回の補選は島根1区、東京15区、長崎3区の3選挙区で行われた。自民党は東京15区と長崎3区には候補者を立てずに「不戦敗」。島根1区に全力を集中した。岸田首相は、選挙公示期間中に2度も島根に現地入りした。島根は小選挙区制度開始以来、自民党の細田博之（元衆院議長）が議長を確保してきた。政権交代した2009年の総選挙でも対立候補に

今回の島根補選では、これまで自民党に投票してきた有権者のおよそ30%が亀井候補に投票したとされる。その主な理由としては「裏金・キックバック事件とその後の処分に対する不満」が1万票以内の辛勝で、けつして安泰とは言えない。10増10減の選挙区見直しや議員引退などで、自民党は約30人を次期総選挙の強化対象としている。そこに今回の「島根ショック」が直撃した。自民党内では「与野党一騎打ちに勝てる」という自信が揺らいでいる。それでは自民党を倒し、政権交代を実現して、改憲、軍拡を阻止し、暮らしを取り戻すことができるのか。それを可能にする政策と政権構想が野党にあるのか。あるべき政治の姿を提示する責任は市民の側にもあることを忘れてはならない。

ば自衛隊が出動することになる」と警告するもの、台湾有事がなぜ日本の存立危機となるのかを説明する者はほとんどいなかったように思われる。論者らは、意識が無き、自衛隊の武力行使の歯止めない拡大に道を開いてはならない。市民運動は国会審議を注目し、平和勢力の国会での活躍を励まし続けなければならない。

5月3日、「戦争させない、9条壊すな！ 5・3 兵庫憲法は我々の命と」の集会が行われた。主催：戦争させない、9条壊すな！ 5・3 兵庫憲法は我々の命と。参加者は約5千人（主催者発表）。ガザの現状にアメリカでは学生たちが行動している。日本でも、日米安保の大改編、武器輸出の解禁、経済安保法案など次々と軍拡をエスカレートさせている。訪米



5月3日、「戦争させない、9条壊すな！ 5・3 兵庫憲法は我々の命と」の集会が行われた。主催：戦争させない、9条壊すな！ 5・3 兵庫憲法は我々の命と。参加者は約5千人（主催者発表）。ガザの現状にアメリカでは学生たちが行動している。日本でも、日米安保の大改編、武器輸出の解禁、経済安保法案など次々と軍拡をエスカレートさせている。訪米

精神障がい者の尊厳を求めて ④ 想田ひろこ

凄惨な虐待の実態

安倍元首相と昵懇

神出病院が属する錦秀会グループは傘下に6000床を有する巨大医療グループ。国内では徳洲会グループに次ぐ規模だ。神出病院の敷本雅巳理事長(当時)の年収は3億円で、安倍元首相とはゴルフ仲間。安倍氏が所属していた自民党細田派に巨額の政治献金を行い、医療業界で権勢を振るってきた。こうした金はいくつもの患者を犠牲にして得られたものだ。

これに加えて職員たちの患者への虐待は凄惨を極めていた。そこには人権感覚の欠片もなく、患者をいたぶり、なぶり、笑いのものにしていた。患者同士でキスをさせたり、看護師長が患者の陰茎を手で擦って射精させ、部下にもやれと焚きつけたり、陰茎包皮をむいてアルコールで拭いて激痛を加えたり、陰茎にジャムを塗って別の患者に舐めさせたり。

スマホ動画から発覚

このような虐待は20年以上前から繰り返されてきたが、それが発覚したのは、神戸市内で起きた連続強制わいせつ事件の容疑者として逮捕された神出病院の看護助手が所持していたスマホの動画だった。2020年3月、動画を手がかりに捜査した兵庫県警は、看護師と看護助手6人を強制わいせつ、暴力行為等処罰法違反、監禁などの容疑で逮捕。刑事事件化されたのは36件だった。

人権感覚の欠如

神出病院においては、その劣悪な医療環境自体が患者への虐待であった。ボロボロに老朽化しても改修されない施設。便の臭いが漂う不衛生な病棟。不足したまま補充されない機器や備品。使い捨てのチューブ、ガーゼ、衛生用品などを消毒して使い回す。老朽化したエアコンは不具合のまま放置。ナースコールは故障したままで、しかもベッドには設置されている。患者を全裸で廊下を

歩かせてトイレに連れて行き、ホースで水をかけ、患者の頭部にラバーカップを吸着させる。汚れた服を着せたままハイター原液をかける。患者の頭にガムテープを4重に巻いた上で、面目の付近にも貼り付ける。患者にたいする3カ月から半年以上の身体拘束などなど。

や神出病院の大澤院長は、事件発覚後も真相究明を妨害し続けたため、第三者委員会が設置されたのは逮捕から1年半後の21年9月だった。その調査で、少なくとも84件の虐待に看護師ら27人が関わっていたことが明らかにになった。



神出病院の看護師6人の逮捕(20年3月4日)を報じる毎日新聞

の捜査も及ばない「治外法権」の状態が続いていた。彼らは皆、直接・間接に虐待に加担していた。まさに構造的な精神障がい者差別である。

市・県の監督放棄

敷本理事長は第三者委員会発足後も事情聴取を拒否し続けたが、21年9月、日本大学医学部背任事件で逮捕される直前に理事長を辞任した。しかし自分の妻を理事長代理に据えて、錦秀会グループを支配し続けたのである。妻は理事長代理として年収7200万円という法外な報酬を得てお

り、これもまた患者を犠牲にして暴利を貪り続けた。彼らは皆、直接・間接に虐待に加担していた。まさに構造的な精神障がい者差別である。

2022年5月、第三者委員会は281ページにわたる調査報告書を作成し、「一般市民にも公開すべき」としてホームページ上で公開した。

調査報告書は語る(以下、要約)。「病院内だけでなく、神戸市の実地指導が怠慢の誹りを免れない。事前通告から立入調査までの間に病院が隠蔽工作をしていたことが顕著であり、それらは認識されていなかった。一応は改善指導を出すものの、それで終わり。法律にもとづく職員の配置においても、誰も知らない名前が勤務表にあったり、診察なしでカルテに記入して薬が処方されたりしており、違法な隔離や拘束について医師の指示など必要な書類が整っていない。こういったあり方が、『患者を人間と見ない』気風を全職員に浸透させた。スマホ動画に見るような虐待は24年間(1998〜2022年)にわたりに行われており、神戸市はそれを無視し続けた。さらに兵庫県は敷本理事長の職務内容(決断を押し付け)に比して余りに高い報酬が医療

や神出病院の大澤院長は、事件発覚後も真相究明を妨害し続けたため、第三者委員会が設置されたのは逮捕から1年半後の21年9月だった。その調査で、少なくとも84件の虐待に看護師ら27人が関わっていたことが明らかにになった。

神出病院の虐待事件は、警察がたまたま逮捕した男のスマホ動画を発見しなければ、永遠に続いていたのかと思うと怒りに堪えない。病院の自浄作用は皆無だった。神戸市や兵庫県は病院にたいしておざなりの指導で済ませ、20年以上、警察

大阪府の支援学校の卒業式で、「君が代」斉唱時に車いすに座って出席した生徒を見守るために、着席していた教員・奥野泰孝さんに大阪府は戒告処分を出した。4月13日、奥野さんの処分撤回裁判の報告と大阪の教育をめぐるシンポジウムが大阪市内で開かれた。

シンポジウムでは、多彩な意見の交流が行われた。弁護士池田直樹さんは「公教育は主権者として子どもたちが育つことが目的であり、国はそれを専門職としての教員にゆだねている。着席して生徒に寄り添った奥野さんは、教員としての合理的配慮を行った。それを懲戒処分にするのは間違っている」と話した。

識字の現場から、はまねさんは「50年ほど前、子どもの入学式に行けな

学校で共に生きるとは「君が代」処分が示したこと



学校は今

奥野さんは「学校で共に生きるとは、生徒の隣人でありたいということ

もできなかった子どもが、女の子の手を握ることができた。子どもたちが育つことが目的であり、国はそれを専門

とができると思う。私たちが生きられない社会は危ない社会。障がい者と健常者が一緒に生きる社会がいい」と話した。

リエさんの連れ合いのまさきさんは、音声合成ソフトを使ってメッセージ。「脳性まひの67才。教育は子どもの幸福のためにあるのに、今の教育は私が学校に通って

法54条(剰余金配当の禁止)と認識しながら、知らぬものとした」。

このような事件がなぜ許されてきたのか。そこには敷本理事長と市・県との間に癒着や黒い利害関係があるのではないか。兵庫県は第三者委員会の報告を否定し「運営が著しく適性を欠く事実

は認められない」と、あくまで県が行った監査結果の正当性に固執した。どうしてこのような態度をとることができたのか。それは、背後にもっと大きな権力が存在していたからだ。

(つづく)

ここで教育が押し進められています。共に生きる教育になっているのか問い直さなければなりません。誰もが地域と一緒に学び働き遊びそして生きる。重度の障がいを持つ人でも地域で生きられる社会を目指していきたく思います。手を取り合って生きて生きて生きぬきましょう」と力強く訴えた。

すべての人が安心して生きられる社会を、お互い支え合いながら目指そうというメッセージが伝わるシンポジウムだった。

(佐野裕子)

アメリカ 異形の制度空間

西谷修・著

講談社選書メチエ 2016年刊1700円＋税

2024年に、アメリカ大統領選挙が実施される。世界の多くの人が、この帰趨を見守っている。しかし、今私たちに必要なことは、大統領選の結果に一喜一憂するようなことではなく、そもそもアメリカ合衆国とはどういう国なのかという根本的な問いかけではないだろうか。2016年に出版された『アメリカ 異形の制度空間』（西谷修著）を参考に、アメリカ史の断片について紹介をしたい。

会形成をおこなってきた「異形の制度空間」だ。

現在アメリカに住む人びとは、先住民の子孫を除いて、すべてこの数百年のあいだにヨーロッパやアフリカ、アジアの各地から植民者として、また移民として、またはアメリカ大陸からの奴隷として、あらたにアメリカ大陸に渡ってきた、もしくは移住させられた人びとによって構成されている。「アメリカ」という名称そのものが、ヨーロッパ人の恣意的な「名付け」に基づいている。

初期の植民者たちは、神という存在を掲げ、「明白な運命」という傲慢なイデオロギーをもって、自分たちと違う人種や異なる文化や言語をもつ人びとを絶滅させてきた人びとだ。そもそもこの大陸にはヨーロッパと異なる文化をもった社会がすでにあった。ところが16世紀以降、イギリス人が入植しはじめると、先住民の土地を奪い、人びとを西へ西へ追い立て、殺りくし、植民者の領域を拡大してきた。

暗黒の植民地史

現代に続くアメリカ社会の支配層の意識の根底には、このアメリカ植民史がしっかりとときざみこまれている。一九世紀にアメリカ社会を窺

世界史にとってアメリカとは何なのか

察したフランス人のトクヴィルは、著書『アメリカのデモクラシー』の中で、「国民はいつまでもその起源を意識する。国民の誕生を見守り、成長に資した環境はその後の歩みのすべてに影響する」と書いた。特に新しく国家建設をおこなったアメリカにおいて顕著だ。ところが16世紀以降、イギリス人が入植しはじめると、先住民の土地を奪い、人びとを西へ西へ追い立て、殺りくし、植民者の領域を拡大してきた。

19世紀から20世紀は、ヨーロッパの強国が、アジア・アフリカを植民地化し、宗主国が植民地総督を配置し、被支配民族を搾取・抑圧してきた歴史があった。帝国主義の時代である。そこでは先住民が宗主国の軍隊と官僚に政治的に支配されていた。

20世紀からのアメリカの国際政治も基本の考え方は同じだ。自分たちが作ったルールを振りかざし、相手を敵とみなし、皆殺しにするものだ。第一次大戦、第二次大戦、朝鮮戦争、ベトナム、イラク、アフガニスタンでおこなわれてきたことは全く変わらない。17世紀以来のアメリカの植民者たちの歴史が、アメリカの正史である限り、その思想は確実に現代まで引き継がれている。

たしかに21世紀の現代世界で語られる「自由」と「私的所有権」の考え方は、すでに普遍化し、世界の共通語となり、私たちの意識の中に当然のように刻み込まれている。世界の多くの地域で社会の規範になっている

のかもしれない。しかしこの思想は、もしかしたら、アメリカ大陸への植民者たちによって例外的に成立した「異形の制度空間」の思想でしかないのではないか。そしてアメリカ合衆国が世界の覇権国となったことで、その制度空間の世界的な拡張がすすめられているだけなのかもしれない。戦争行為を主導するのは植民地主義の思想ではないか。

戦前日本の朝鮮半島や中国大陸への侵略は、欧米の植民地主義を必死に学んだ結果だった。私たちは、まず第一にアメリカ合衆国を疑い、アメリカ合衆国を疑い、日本の近代思想を疑い、その根本をひっくりかえしていくことが必要なのではないか。

(秋田勝)

映画『スープとイデオロギー』

監督・脚本・ナレーション・ヤン・ヨンヒ
韓国・日本2021年 118分

「ほんとに恐ろしかったわ」。娘時代の体験、韓国・済州島で1948年に起きた4.3事件。アメリカ軍政下で朝鮮半島を分断する南朝鮮単独選挙の強行に反発した民

衆蜂起である。この時、政府軍・警察による弾圧で島民の5人に1人、6万人が殺された。その記憶を語る年輩いたオモニ。猪飼野の自宅

で「將軍様」の歌をほろ酔いで口ずさみ、くつろぐアボジ。「お前の好きな人やったら誰とでも（結婚して）ええけど、日本人とアメリカ人は絶対あかん」。アボジは総連の幹部で両親ともに活動家である。

息子たち家族に、なぜなしの貯金から50年近く仕送り続けた。それを止めるため、娘のヨンヒは説得する。オモニの参鶏湯とスープづくりに、今度は娘婿がスープを作って家族で団欒する。

38度線で分断、家族を引き裂いた「イデオロギー」に対し、「スープ」は、絆やアイデンティティを象徴しているだろうか。そして、命からがら日本に密航したオモニは、老いて認知症になる。死にが、今も世界中で繰り返されている。（啓）

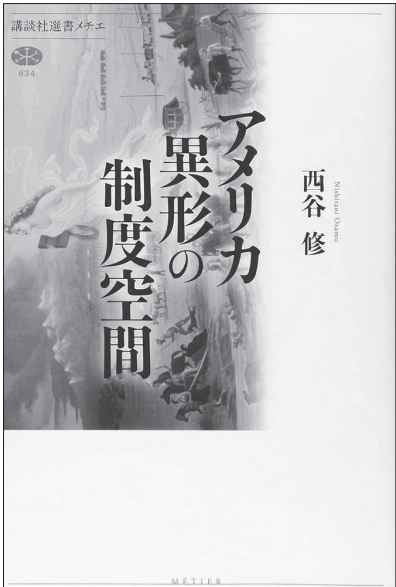
「歴史ひとつ違っていたら、38度線は日本のどこかに引かれていたかもしれない」と、作家の村山由佳が述べていた。歴史に激しく翻弄された生

死にが、今も世界中で繰り返されている。（啓）

三里塚の産直野菜 若採りエシャロット エシャロットは、生食用の若採りラッキョウのこと。若いラッキョウは、ほんのり辛く、しゃきしゃきと柔らかい食感で美味。味噌やマヨネーズにも合う。育ったものは、漬物用に6月から出荷されます。（淡）



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」あり。
【お問い合わせ】
TEL/0799-72-5242
関西実 E-mail/ kanjitsu_mail@yahoo.co.jp



現代の国際政治、国際社会を考えると、アメリカ合衆国という存在を抜きにして語ることはできない。17世紀初頭にイギリス植民地として生まれたアメリカ合衆国は、ユーラシアやアフリカの社会とは全く異なっ

た成り立ちと文化をもって現代に至っている。アメリカ合衆国とは、当時のイギリス人植民者が、独特の理念を掲げ、きわめて「目的意識的」な社

会形成をおこなってきた「異形の制度空間」だ。

現在アメリカに住む人びとは、先住民の子孫を除いて、すべてこの数百年のあいだにヨーロッパやアフリカ、アジアの各地から植民者として、また移民として、またはアメリカ大陸からの奴隷として、あらたにアメリカ大陸に渡ってきた、もしくは移住させられた人びとによって構成されている。「アメリカ」という名称そのものが、ヨーロッパ人の恣意的な「名付け」に基づいている。

初期の植民者たちは、神という存在を掲げ、「明白な運命」という傲慢なイデオロギーをもって、自分たちと違う人種や異なる文化や言語をもつ人びとを絶滅させてきた人びとだ。そもそもこの大陸にはヨーロッパと異なる文化をもった社会がすでにあった。ところが16世紀以降、イギリス人が入植しはじめると、先住民の土地を奪い、人びとを西へ西へ追い立て、殺りくし、植民者の領域を拡大してきた。

19世紀から20世紀は、ヨーロッパの強国が、アジア・アフリカを植民地化し、宗主国が植民地総督を配置し、被支配民族を搾取・抑圧してきた歴史があった。帝国主義の時代である。そこでは先住民が宗主国の軍隊と官僚に政治的に支配されていた。

20世紀からのアメリカの国際政治も基本の考え方は同じだ。自分たちが作ったルールを振りかざし、相手を敵とみなし、皆殺しにするものだ。第一次大戦、第二次大戦、朝鮮戦争、ベトナム、イラク、アフガニスタンでおこなわれてきたことは全く変わらない。17世紀以来のアメリカの植民者たちの歴史が、アメリカの正史である限り、その思想は確実に現代まで引き継がれている。

たしかに21世紀の現代世界で語られる「自由」と「私的所有権」の考え方は、すでに普遍化し、世界の共通語となり、私たちの意識の中に当然のように刻み込まれている。世界の多くの地域で社会の規範になっている

のかもしれない。しかしこの思想は、もしかしたら、アメリカ大陸への植民者たちによって例外的に成立した「異形の制度空間」の思想でしかないのではないか。そしてアメリカ合衆国が世界の覇権国となったことで、その制度空間の世界的な拡張がすすめられているだけなのかもしれない。戦争行為を主導するのは植民地主義の思想ではないか。

(秋田勝)

トガシさんの「沖縄便り」(80)

瀬嵩に浮かぶ

黒い石材船



瀬嵩の浜へ向かう国道

悪天候の予報で延びた「沖縄の民意・自治・尊厳を守り抜く県民集会」が4月14日に、大浦湾に面する瀬嵩の浜で開かれた。この日も雨模様だったが、1200人ほどの集まった。なぜ瀬嵩の浜か。埋め立てを阻止する最前線の一つであり、海上という一番厳しい場所だからだろう。

サンゴの破壊は犯罪

その日は日曜日、海上での工事もなかったが、海上の作業ヤードを建設中と思われる一面にフ

貴重なアオサンゴ群落を始め、豊かな海の生物が殺されていく。本来なら犯罪である。この犯罪はなぜ許されるのか。根源にあるのは「戦争への抑止力」という虚構である。

「抑止力」観の弊害

抑止力という「共同主観」は、金遣いの暴走も許す。大浦湾埋め立て予定地の軟弱地盤に、7万円、GDPの1%を超え本以上の砂杭を打ち込むことになっている。琉球

新報(5月5日)によらると、そのための作業船3隻の改造費に20億円の公費が使われる。そもそも辺野古新基地建設費は、9300億円と公表されていた。これらの改造費などとは後から追加される。抑止力「共同主観」は果てしない「金遣い合戦」をもたらす。

その連鎖は世界中に及んでいる。ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)が発表した全世界の軍事費合計は、前年比3.7%増の約2兆2400億ドル(約300兆円)。日本もラ

増大する。日本だけ見ると、2027年にはGDPの2%を軍事費に充てるようにする。それは12兆円を超える。その軍拡の行きつく先に、何が待っているのか。

抑止力という「共同主観」は、金遣いの暴走も許す。大浦湾埋め立て予定地の軟弱地盤に、7万円、GDPの1%を超え本以上の砂杭を打ち込むことになっている。琉球

川柳

利秋

富士山の空気を入れた缶を買う

富士山が一度も見えぬバスツアー

オーロラが見えずに買った絵葉書だ

なん月のなん日ですかいつかって

いつからいつもになつていつまでも

繋いでいた犬の鎖がここにある

母さんがぼくの日記に五重丸

日記には妻が命と書いておく

沈黙が続く空気を読んでいる

ミサイルがガザの笑顔を打ち壊す

「気を付けろ、ライオンだ」という言葉を操れる人類は他にもいたが、「ライオンはわが部族の守護霊だ」と話すことができたのはサピエンスだけだ。その想像力のおかげでサピエンスは、複雑な社会を形成することが可能になったという。

「抑止力」というのは、「気を付けろ、ライオンだ」という言葉を操る人類レベルの想像力。憲法前文の理念を生み出した意識はあるのか。(ま)

「大阪市立の高校22校が無償で府に移管するのは地方自治法、地方財政法に違反する」と訴えた裁判は1審、2審とも敗訴した。22年4月1日に15校の土地建物は無償譲渡されてしまったため、15校にたいしては訴訟を取り下げ、23

「大阪市立の高校22校が無償で府に移管するのは地方自治法、地方財政法に違反する」と訴えた裁判は1審、2審とも敗訴した。22年4月1日に15校の土地建物は無償譲渡されてしまったため、15校にたいしては訴訟を取り下げ、23

高校無償譲渡は違法

最高裁へ負けへんで

求を提訴した。残りの桜宮高校、扇町総合高校(西、南、桜和高校は扇町に統合)、東淀川工業高校、水都国際高校は最

高裁で争う(現時点で扇町総合と東淀川工業も移管済み)。

この裁判で闘っている大阪市民の財産を守る会

大阪市民の財産を守る会

のは、「ライオンは、わが部族の守護霊だ」と話すサピエンスのレベルである。「賢いヒト」と言

能登の報告に心が痛む。報道されないことが伝わってきた。(み)

(ひ)／能登、震災直後のまとは。知事はウラ金問題の安倍派の元議員。人びとのために働く意識はあるのか。(ま)

が4月11日、大阪市内で報告会を開き、現時点の総括と今後の展望を明らかにした。

都構想から始まった

原告の一人で当日の司会を務めた幸田泉さんは「すべては都構想から始

でもない。

幸田さん

は語る。「な

ぜ裁判まで

しようと考えたのか」と。それは大阪府による市民の財産の乗っ取りだからだ。現在府は強引に府立

高校の統廃合をすすめている。市立高校が府立高

校になれば、統廃合の波に飲み込まれる。廃校に

なった土地・建物の売却益が府の財政に入る。

(堀ちえこ)

まい・しよっと (76)



やさしい「警告文」。仕事でよく立ち寄る24時間営業のドラッグストアの駐車場に貼ってある。たいていの場合、「警告」「めいわく」「警察に通報」などの強い言葉が並ぶものだが、「タバコやチューハイの缶を捨てないでね」というやさしい言葉に、ほっとする。

(撮影：5月 神戸市内、太郎)